

中区脱炭素チャレンジ事業

北方小学校6年1組の活動と商店街加盟店の協力により、  
廃食用油回収拠点が新設されます！



中区では今年度、持続可能な航空燃料(SAF)\*をテーマに、北方小学校6年1組の総合的な学習の時間と連携し、環境共生や GREEN×EXPO 2027 を広める取組を進めてきました。

このたび、中区本郷町商栄会に加盟する「カフェ&レストランくらのすけ(以下、くらのすけ)」(くらグループ)様が本取組にご賛同いただき、新たな廃食用油回収拠点となっていただくこととなりました。

※持続可能な航空燃料(SAF)・・・家庭や事業所で使用された食用油(廃食用油)から作られた航空燃料。

新たな回収拠点「くらのすけ」

北方小学校6年1組の活動では、周辺地域のお店などに呼びかけ、油回収を進めてきました。その活動のつながりの中で、児童らのお願いにより、令和7年11月から、廃食用油回収ボックスを「くらのすけ」様の店舗入口に設置させていただいております。児童が卒業後の令和8年4月以降は、「くらのすけ」様が主体となって回収ボックスを維持し、地域の廃食用油回収拠点として運営いただきます。



回収ボックス(外観)



回収ボックス(内観)

【回収ボックス】

子どもたちのアイデアで作られた手作りの回収ボックスです。周囲には、手書きで描いた SAF への呼びかけや、SAF の説明資料などを貼り付けています。下の土台は、くらグループ リフォーム事業部(株)クラスタイルが施工した、黒板素材の回収ボックスの土台です。

地域のより多くの方に取組を広めるため、キャストを取り付け、くらのすけの営業中には外へ出しています。

※本市 HP「廃食用油の SAF(持続可能な航空燃料)への利活用の取組」にも回収拠点として掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/SAF.html#6EFF9>



市 HP は  
こちら

裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## (参考)令和7年度における北方小学校6年1組の総合的な学習の時間

横浜銀行が提供する「はまぎん環境教育プログラム」を活用し、中区と連携しながら、児童たちが SAF について学び、廃食用油の回収と地域への普及啓発に取り組んできました。

### ○これまでの主な活動

- ①手作り啓発チラシ・ポスターによる周辺地域での啓発
- ②児童自身による、近隣店舗への声掛けと廃食用油の回収
- ③中区民祭りでのブース出展
- ④コミュニティ放送局「マリン FM」での児童らの音声放送による周知 等

お問合せ先

中区区政推進課長 宮里 弘美 Tel 045-224-8120



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

